第３期愛知県特別支援教育推進計画

（愛知・つながりプラン2028）

～共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実～

概　要　版

2024年２月

愛知県・愛知県教育委員会

計画の概要

1　基本的な考え方

○　共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育ニーズへの対応
- 障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に教育を受けられる条件整備
- 通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある多様な学びの場の充実・整備

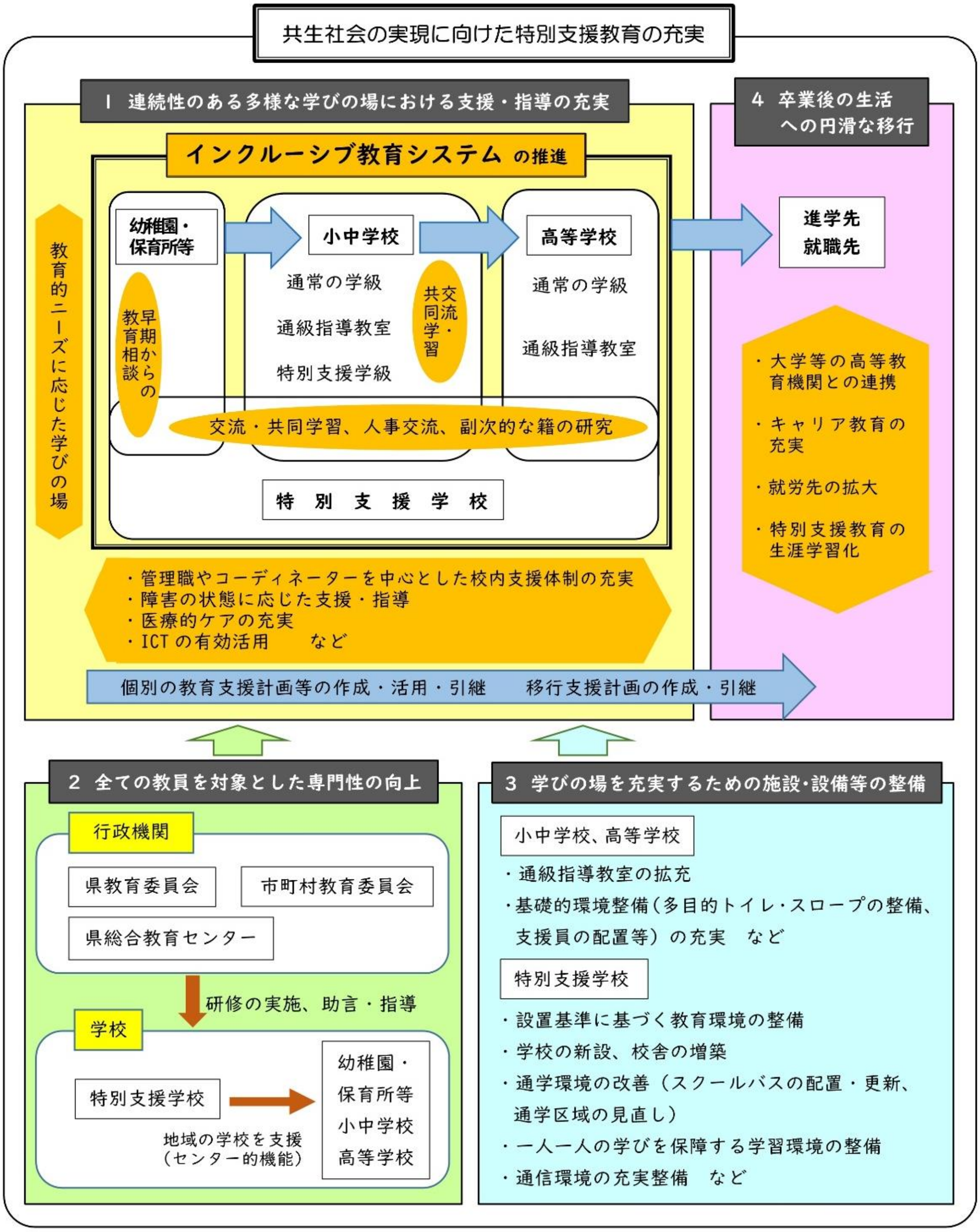
2　四つの柱

1　連続性のある多様な学びの場における支援・指導の充実
2　全ての教員を対象とした専門性の向上
3　学びの場を充実するための施設・設備等の整備
4　卒業後の生活への円滑な移行

3　計画期間

○　2024年度から2028年度まで（5年間）

○　計画の概要図



主 な 取 組

1　連続性のある多様な学びの場における支援・指導の充実

・管理職や特別支援コーディネーターを中心とした校(園)内支援体制の充実(幼・保、小中、高)
・個別の教育支援計画・指導計画の活用及び引継率の向上(中→高の引継ぎルール化等)(幼・保、小中、高、特支)
【新規】・市町村が特別支援学校(小中)を新設した場合の、高等部段階も地域で学べる方策の検討(特支)
(拡充)・医療的ケアの体制や支援の強化、研修の充実(小中、高、特支)
【新規】・医療的ケア児の通学や校外学習への看護師付添い事業の推進(特支)
【新規】・副次的な籍の設置に向けたモデル事業の実施(小中、特支)
・病弱の児童生徒を対象としたモデル事業の実施(小中、特支)
【新規】・「通級による指導」を開始する際の手引きの作成の検討(高)
【新規】・就学・就労支援などの各種案内の多言語に対応した情報提供サービスの実施(特支)

2　全ての教員を対象とした専門性の向上

・特別支援学校教諭等免許状の保有率の向上(小中、特支)
・ユニバーサルデザイン化を前提とした授業の推進(小中、高、特支)
(拡充)・職務や経験年数に応じた体系的・実践的研修の充実(幼・保、小中、高)
(拡充)・知的発達に遅れのない発達障害等に関する専門性の向上に向けた研修の充実(小中、高)
(拡充)・特別支援学校のセンター的機能の強化(発達障害理解の推進、教育相談技術の向上等)(特支)
【新規】・総合教育センター所員による特別支援学校の教育相談担当者へのサポート(特支)
(拡充)・人事交流の活性化による特別支援教育の推進者となる人材の育成(小中、高)

3　学びの場を充実するための施設・設備等の整備

・合理的配慮事例集の追加・更新(小中)
【新規】・中学生・保護者の県立高等学校入学前の相談窓口設置の検討(高)
【新規】・全ての県立特別支援学校へのエレベーター設置に向けた検討(特支)
・通級指導担当教員の基礎定数化実施に向けた教室の適切な設置(小中)
【新規】・特別支援学校設置基準を踏まえた学級編制の改善(特支)
(拡充)・特別支援学校の新設による教室不足及び長時間通学の解消(特支)
・通学区域の見直しによる長時間通学の解消(特支)
【新規】・訪問教育実施校における分身ロボットの整備の検討(特支)
【新規】・VR(仮想現実)やAR(拡張現実)の活用に向けた研究(特支)
・訪問教育先でのICT通信環境の改善(特支)
【新規】・全ての特別支援学校体育館への空調設備の設置(特支)

4　卒業後の生活への円滑な移行

・入試や進学後の支援に関する情報発信などの大学等進学支援(高、特支)
(拡充)・高等部「職業コース」の実習受入企業の拡大や内容の充実(特支)
【新規】・社会のニーズに応じた作業学習のカリキュラムや職業技能検定の開発(特支)
【新規】・卒業後に適切な福祉サービスが受けられるようにするための情報提供(中、高)
・就労アドバイザーの増員を含めた地域ごとの適切な配置(特支)
・民間企業との連携による在宅就労支援(特支)
・企業向け学校見学会の開催(特支)
・生涯を通じた教育、スポーツ、文化芸術等への参加支援(小中、高、特支)
【新規】・卒業後の学び直しの機会を創出するための学習支援のあり方の検討(特支)

愛知県教育委員会　特別支援教育課

愛知県教育委員会　特別支援教育課

URL　https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tokubetsushienkyoiku/